

## 『夕暮れの走者 渋谷直人詩文集』

《好評既刊》

実存を賭けて読み、思考する  
知られざる批評家、唯一の詩文集

1960年代から90年代まで書き継がれた詩・小説・散文、書き下ろしほか全21篇。  
(人生は“受難”(パッション)に過ぎないのか)。生涯を貫いた全身の問いがここに。

夕暮れの走者

著者略歴 渋谷直人 (しぶやなおと)

1926年生まれ。1945年8月、日本海軍(内地分遣隊)から復員。故郷・山形県米沢市へ帰還した日、父死す。次兄はフィリピン・レイテ島、カンキポット山で戦死。早稲田大学教育学部卒業。東京都豊島区東長崎に住み、詩人・大江満雄の知遇を得る。この頃、文芸誌『存在』『氷河』同人。川崎市立中学校教諭を經歷。『秧鶏』『風嘯』等に詩や小説、評論を発表してきた。著書に『鳥と魚のいる風景』(近代文藝社、1982年)、『大江満雄論 転形期・思想詩人の肖像』(大月書店、2008年)、『夕暮れの走者 渋谷直人詩文集』(編集室水平線、2021年)、編書に『大江満雄集 詩と評論』(共編、思想の科学社、1996年)がある。

\* \* \*

目次より——牡丹と春雷／風と蛹と／若き日の断章／夢魔／林間幻想／夜叉神峠へ／詩一つ／川に魚を見たり／家さ帰ろうよう……

渋谷直人詩文集

貴店名・帳合	注文数	発行：編集室 水平線 TEL&FAX：095-807-3999
		<b>夕暮れの走者</b>
		渋谷直人詩文集
		四六判並製／208頁／定価 [2,400円+税]
ご担当者様	冊	ISBN 978-4-909291-04-2 C 0095

ご注文は JRC へ → FAX 03-3294-2177

※返品条件つき注文扱い